

市民アンケート速報

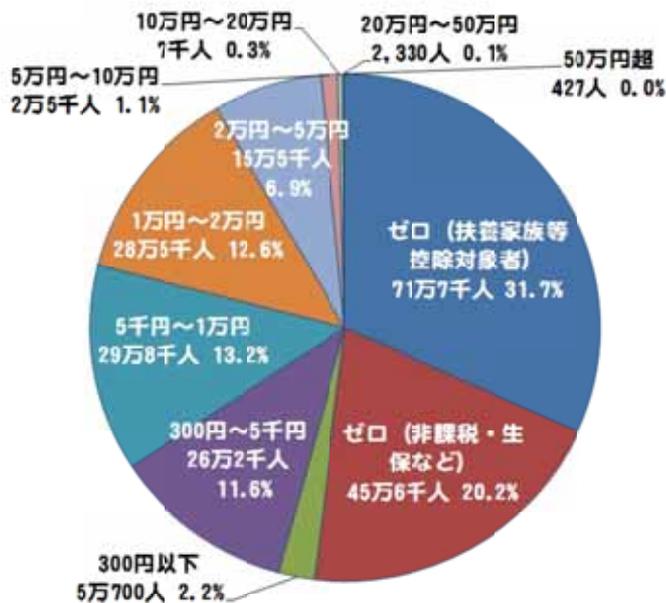
要求の第1位は介護の充実

日本共産党の実施している市民アンケートは、共産党の政策について意見を聴く内容です。これまでに2000人を超える方々から回答が寄せられ、「実現してほしいこと」のトップは特養ホーム増設などの介護の充実、2位が正規雇用拡大、3位が国保料引き下げ、4位が認可保育園増設、待機児解消でした。共産党の政策に強い期待が寄せられています。これらの実現に向けて署名運動に取り組んでいます。

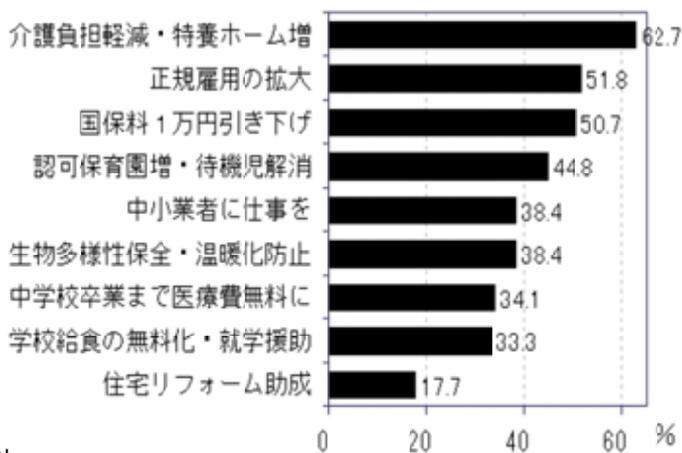


アンケート（左写真）と集計の一部（右図）。9月20日集計

2010年度個人市民税の減税額と対象者数



実現してほしいこと（複数回答）



9月議会で議員報酬を月額20万円削減

「市民参加の第3者機関」でさらなる引き下げを **日本共産党**

議員報酬をめくり、「800万円」の根拠も示さず、「ワシがやったから」と押し付け一本やりの市長。一方、議会だけで報酬を決める従来方式にこだわる議会多数派。

議会のお手盛り打破を提案

日本共産党市議団はこの「対立」構図を打ち破り、確実に報酬を引き下げること、「市長の押しつけでも議会のお手盛りでもなく、市民参加の第3者機関をつくって報酬額を検討する」

ことという、新しい改革提案を行ってきました。今回、この方向へ一歩前進しました。

9月28日の市議会で、市議報酬の月20万円の引き下げ（全国5大都市中最低の報酬額に）が決まり（共産党賛成）、今後、市民参加の第3者機関を設置して議会改革をさらに進めることが議会全体の合意になりました。

日本共産党の提案と努力が議会を着実に改革しています。



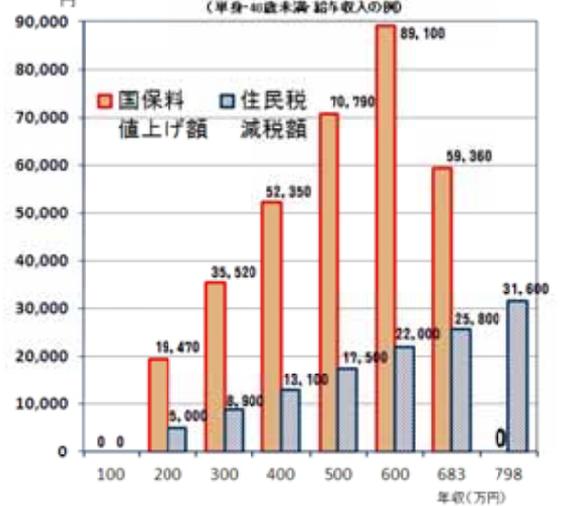
減税でいくら戻ってきた？
「3000円も減税だった」

でもねえ

国保料が5万円も
値上げしたんだよ

南区のKさん(65歳)のおはなし・・・

10%減税額と国保料値上げの比較



不況と減税などの影響で、国保料が大幅に値上げされました。その結果、所得100万円の65歳の一人暮らしの人は年10万円、40歳代の夫婦と子ども2人世帯(所得300万円)の場合は年41万円など、高すぎる国民健康保険料に悲鳴が上がっています。

不況で収入が減ったり、年金生活の人にはとりわけ大きな影響が出ています。金持ちは減税でホクホク、国保料値上げは関係ないか、微々たるもの。

河村市長の「金持ち減税」を公約通り「金持ちはゼロ」にすれば60億円の財源が生まれ、ひとり1万円の国保料引き下げができます。



国保料値下げを求める署名など 暮らし守ってがんばる 日本共産党

日本共産党は、いのちと暮らしを大切にする市政を実現するために市政アンケートや要望署名に取り組んでいます。

市民アンケートをお寄せください

福祉・くらしや雇用、営業など、みなさんの声を市政に生かします。

市長と議会への請願・要望署名にご協力を

- ・国民健康保険料引き下げを
- ・保育所待機児童解消を
- ・中学校卒業まで通院も医療費無料に
- ・くらし、雇用、営業の緊急対策を
- ・議員報酬引き下げを

個人市民税の所得階層と減税額 (2010.6.1現在)



「庶民減税」と言いますが、実態は、納税者の3%の高額所得者が減税額の25%。法人税でも08年度から試算すると上位5社だけで10億円の減税です。

大企業の法人市民税の減税額

